



2021年2月12日

各 位

会 社 名 株式会社 K e y H o l d e r  
代 表 者 名 代表取締役社長 畑 地 茂  
(証券コード番号 4712・JASDAQ)  
問い合わせ先 取 締 役 大 出 悠 史  
電 話 番 号 0 3 - 5 8 4 3 - 8 8 8 8

### 通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

本日付け「2020年12月期決算短信〔IFRS〕（連結）」において、2020年8月12日に公表いたしました2020年12月期の通期連結業績予想と実績値との間に差異が発生いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2020年12月期 通期連結業績予想との差異（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり当期利益
前回発表予想（A）	百万円 8,000	百万円 300	百万円 400	円 銭 24.50
今回発表実績（B）	10,700	1,605	1,288	78.91
増減額（B - A）	+2,700	+1,305	+888	—
増減率（%）	+33.75	+435.00	+222.00	—

#### 2. 差異の理由

売上収益におきましては、まず総合エンターテインメント事業においてコロナ禍による活動自粛やイベント等の開催延期・中止による影響を受けたものの、株式会社ノース・リバー（以下「ノース・リバー」という。）の取得により当初計画していた同社の実績が好調に推移したことにより、計画比約4,200百万円のプラス。映像制作事業では、撮影・ロケ等の延期・中止により当初想定していたドラマや映画の製作ができなくなったことにより、計画比約1,500百万円のマイナス。広告代理店事業では、広告主による広告出稿の見送りや広告自粛等はあったものの、計画比約70百万円のプラスとなり、その他の事業で計画比約80百万円のマイナスとなりました。

営業利益におきましては、コロナ禍による苦戦を強いられたことで、映像制作事業及び広告代理店事業におきまして、それぞれ計画比約400百万円のマイナスとなりましたものの、総合エンターテイ

ンメント事業において、ノース・リバーの株式取得等により持分法による投資利益 2,784 百万円を計上できましたことで、計画比約 2,100 百万円のプラスとなりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益では、キーノート株式会社（現：株式会社グローバルス）と株式会社プロスペクトとの株式交換により取得していた同社株式の評価損 537 百万円（取得時：40 円 期末評価時点：30 円）を計上したものの、計画比 888 百万円プラスの 1,288 百万円となりました。

以 上